

I 平成27年度事業報告（概要）

さくら会は地域に根ざした事業運営を担いつつも、継続的な経営を行うために常に努力を怠ることのできない厳しい状況の中での運営となっております。感染症等による稼働の影響もある中で、経営面では利益を確保して行かねばなりません。平成27年度の介護保険法改定に対し積極的に対応するとともに、品川区における介護予防・日常生活支援総合事業への移行に取り組んでまいりました。

南大井事業部

- 1 介護保険制度改正による介護予防・日常生活支援総合事業の開始
- 2 地域包括支援センター等における介護予防機能強化推進事業
- 3 認知症ケア研究会の実施

平成27年度は、介護保険制度の改正による、単価改訂の影響と、介護予防・日常生活支援総合事業への対応が大きな変化となりました。

単価の改訂では、全体の報酬単価の引き下げによるものと、要支援者が、介護予防・日常生活総合事業へ移行したことによる単価の引き下げにより、主に南大井在宅サービスセンターと月見橋在宅サービスセンターが大きく影響を受け、稼働に対する収入が落ち込みました。

また、要支援利用者が介護予防・日常生活支援総合事業へ移行したことにより、「いきいき活動支援プログラム」による、利用者の自主的な活動・運営を支援し、地域での生活支援につながるプログラムの検討・実践を行ってまいりました。

経営面における重要な指標である施設の稼働は、ケアセンター南大井については感染症の影響は少なかったものの、年間の稼働率は91.6%と低迷してしまいました。通所施設では、通所リハビリは目標値を上回り稼働率は86%となり、一般デイも88%と稼働を上げる事ができました。月見橋の家については、稼働率は一般デイは92%、認知症デイは73%と、全体的に稼働を上げることができました。ヘルパーステーションは、利用者の減少から目標値を達成することはできませんでした。また、訪問看護ステーションは人員の確保が困難であったため、目標値を達成することができませんでした。開設4年目となる大井林町高齢者住宅と大井林町倶楽部については、高齢者住宅では満室の状態を維持する事ができ、大井林町倶楽部も最終登録者数23名で、稼働率91.3%と当初の目標を若干下回りました。

また、平成26年度に引き続き品川区からの受託事業「地域包括支援センター等における介護予防機能強化推進事業」により、品川区における介護予防の強化を目的として、地域包括支援センターの介護予防に関する知識向上や介護予防事業の見直し等を実施してまいりました。この受託事業により、リハビリテーションの視点による介護予防の見直しを実施してまいりました。

さらに平成25年度より継続している認知症ケア研究会を平成27年度も実施し、ケアセンター南大井、月見橋在宅サービスセンター、大井林町倶楽部、それぞれの認知症ケアについて研究・まとめを行い、各事業所での実践に活かしています。

平成22年度末に発生した東日本大震災は、未だにその影響を残しております。平成27年度は継続して震災対応の訓練を実施し、年に11回実施した防災訓練の内3回を震災対応の訓練とし、そこで検証した事項を避難経路、車椅子利用者の避難方法等を含め、平成24

年度に作成した「震災対応マニュアル」を修正しました。

西五反田事業部

西五反田事業部としては開設12年目を迎え、本年度は3年に1度の介護報酬改定年度にあたることから「複合施設の特性を活かした効率の良い運営」を全体目標に掲げ、特に介護報酬減額の影響が大きかったケアホームの特定施設入居者生活介護、西五反田在宅サービスセンターの通所介護の2事業をはじめ、居宅・訪問系各事業と隣接クリニック・調剤薬局・コンビニエンスストアや地元自治会の方々にもご協力いただき、年間を通じて複合施設として効率の良い形態をそれぞれ積極的に推進しました。

その結果、各事業の差異はあるものの事業部全体としては、特に居宅・在宅サービス部門の利用者増加による収入増に支えられる形で、全体としては経常活動収支差額とも計画を若干上回ることが出来ました。

施設部門においては、さくらハイツは昨年度に続き契約終了者が多く、経年による予想外の居室リフォーム費などで予算超過となりましたが、全体としてはその他の費用のコスト削減によりほぼ予定通りの結果となりました。

ケアホームにおいては今回大幅な介護報酬減の影響が予想され、契約終了者数は例年とほぼ同様でしたが、退居から入居までの期間は計画より早まり平均22日間、入院から退院までの期間は平均29日間と計画よりは伸びましたが、全体を通じて介護状況が重度化傾向にあり、平均介護度が3.27に上昇した事もあり、運営収支としては、ほぼ計画通りで推移できました。

また前年度に続き「要介護度改善ケア奨励事業」では、今年度も西五反田事業部は要介護度の改善した認定者数が前年度とほぼ同数となり、区内対象施設の中でも上位にランクされております。

尚、昨年度より老人福祉法の一部改正を受けて、さくらハイツでは「介護の安心基金」の制度見直しを実施していましたが、説明会の実施など東京都、並びに品川区のご指導のもと制度を適正に見直し基金加入者の理解を得て、初期の手続きとしては概ね完了することができました。

在宅部門においては、利用者確保対策として在宅介護支援センターを中心に特に3部門間の連携強化に努めました。

居宅介護支援のプラン件数は通年各月で目標を大幅に上回り、通所介護利用者数は当初計画を下回る結果となりましたが、その影響から訪問介護事業においては訪問回数と収入実績とも目標を上回ることができました。

通所介護利用者数低迷の主な理由としては、一般デイの稼働はほぼ予定通りの稼働で推移したものの、認知症デイの利用者確保が進まなかったからと考えます。引き続き来年度は、認知症に特化したプログラムの充実や外出行事の拡充を図り対処してまいります。

事業部全体の運営収支につきましては、各事業所が独自に掲げた目標に対して、職員自身が経費削減等のコスト意識にも常に心掛けて取り組んで目標を若干上回ることができましたが、更なる経営の安定化のために職員の努力を適正に評価し、次年度に繋げてまいりたいと考えております。

Ⅱ 理事会・評議員会開催状況

1 理事会開催状況

- 第79回理事会 平成27年5月28日（木曜日）
- 第1号議案 社会福祉法人さくら会 平成26年度事業報告について
 - 第2号議案 社会福祉法人さくら会 平成26年度決算報告について
 - 第3号議案 社会福祉法人さくら会職員給与規程の一部改正について（南大井事業部）
 - 第4号議案 社会福祉法人さくら会パート職員就業規則の一部改正について（南大井事業部）
 - 第5号議案 社会福祉法人さくら会職員給与規程の一部改正について（西五反田事業部）
 - 第6号議案 評議員の退任及び選任について

- 第80回理事会 平成27年12月9日（水曜日）
- 第1号議案 社会福祉法人さくら会 給与規程の一部改正について
 - 第2号議案 理事・監事・評議員の任期満了に伴う選任および同意について

- 第81回理事会 平成27年12月16日（水曜日）
- 第1号議案 社会福祉法人さくら会 理事長の選任および職務代理について

- 第82回理事会 平成28年3月24日（木曜日）
- 第1号議案 平成27年度最終補正予算（案）について
 - 第2号議案 平成28年度事業計画（案）について
 - 第3号議案 平成28年度当初予算（案）について
 - 第4号議案 平成28年度契約について
 - 第5号議案 社会福祉法人さくら会 職員就業規則の一部改正について
 - 第6号議案 社会福祉法人さくら会 運営規程の一部改正について
 - 第7号議案 幹部職員の人事異動等について

2 評議員会開催状況

- 第68回評議員会 平成27年5月28日（木曜日）
- 第1号議案 社会福祉法人さくら会 平成26年度事業報告について
 - 第2号議案 社会福祉法人さくら会 平成26年度決算報告について
 - 第3号議案 社会福祉法人さくら会職員給与規程の一部改正について（南大井事業部）
 - 第4号議案 社会福祉法人さくら会パート職員就業規則の一部改正について（南大井事業部）
 - 第5号議案 社会福祉法人さくら会職員給与規程の一部改正について（西五反田事業部）

- 第69回評議員会 平成27年12月9日（水曜日）
- 第1号議案 社会福祉法人さくら会 給与規程の一部改正について
 - 第2号議案 理事・監事・評議員の任期満了に伴う選任および同意について

第70回評議員会

平成28年3月24日（木曜日）

- 第1号議案 平成27年度最終補正予算（案）について
- 第2号議案 平成28年度事業計画（案）について
- 第3号議案 平成28年度当初予算（案）について
- 第4号議案 平成28年度契約について
- 第5号議案 社会福祉法人さくら会 職員就業規則の一部改正について
- 第6号議案 社会福祉法人さくら会 運営規程の一部改正について
- 第7号議案 幹部職員の人事異動等について
- 第8号議案 監事の退任および選任について

Ⅲ 南大井事業部報告

1 総務部

(1) 活動報告

前年度に引き続き、社会福祉法人改革について研修等に参加し、情報収集を行い、法人の組織運営や財務規律の強化、人材の確保、社会貢献活動のあり方等について検討しました。

また、平成27年度の介護保険制度改正を受け、各部門が地域包括ケアシステムの構築を円滑に進められるよう、連携に力を注いで参りました。

(2) 職員の配置状況

平成28年3月31日現在 () は兼務

	勤務形態	施設長・ 管理者	施設長・ 医師	看護師	介護職	相談員	介護支 援専門 員	理学 療法士	作業 療法士	管理 栄養士	事務職	介護等 補助	合計
総務部	常勤	3									6	2	11
	非常勤										15	1	16
ケアセンター 南大井	常勤	2	1	9	27		4	2	1	1			47
	非常勤		5	3	20 (1)				1	1	1	4(2)	35
ケアセンター南大井 (通所リハビリ)	常勤	(1)		1	3	2		2					8
	非常勤			2	5			1				6(1)	14
南大井 在宅サービスセン ター	常勤	1		1	4	1							7
	非常勤			1	3							5	9
月見橋 在宅サービスセン ター	常勤	1		1	4	3							9
	非常勤			1	7								8
南大井在宅介護 支援センター	常勤	1					5						6
	非常勤												0
南大井第二在宅 介護支援センター	常勤	1					5						6
	非常勤						1						1
南大井訪問看護 ステーション	常勤	1		3							1		5
	非常勤			1				5					6
さくら会 ヘルパー ステーション	常勤	1			3								4
	非常勤				15(1)								15
さくらハイツ 南大井	常勤	1			2	1						(3)	4
	非常勤											4(2)	4
大井林町地域密着型 多機能ホーム	常勤	(1)			5	1							6
	非常勤			1	10(2)							1	12
大井林町 高齢者住宅	常勤	1			1	1					1		4
	非常勤										5	6(1)	11
合計	常勤	13	1	15	49	8	14	4	1	1	8	2	116
	非常勤	0	5	9	60	0	1	6	1	1	21	27	131

(3) 人事

職員の採用活動としては今年度も品川介護福祉専門学校等や、経験を積んだ人材から介護職・看護職等の職員を採用し、次の世代を担う職員の育成に努めました。

また、東京都社会福祉協議会が行っている東京都福祉人材ネットワーク事業や各種就職説明会に積極的に参加し、実績につながりました。

職員の処遇改善については、引き続き、処遇改善加算を取得、活用しました。

平成26年度人事内に設置したメンタルケア相談窓口は、引き続き、コーディネーターとしての役割を担っています。

(4) 会計

新会計基準に基づいた処理を実行し、会計の透明性の確保に努めました。

水道光熱費の経費削減のため、主要電灯のLED化、節水設備導入をし、全体で約15%削減できました。

各事業所へのサポートとして、各所長が経営状況を把握できるよう、試算表の作成および付随資料の作成に努めました。

さくら会資産管理規程に基づき、より適切な資産運用を行いました。

(5) 請求・サポート

ケアセンター南大井における「無料又は低額な費用」でサービスを提供する事業に関しては、相談員へ実施状況の情報提供などのサポートを行ってまいりました。

各部門の業務改善に対しコンピュータシステムや介護報酬請求システム等に関連する部分のサポートを行ってまいりました。

(6) 定例会議等

運営会議 四半期毎1回 所長会議 毎週1回火曜日

苦情解決委員会 毎月1回最終火曜日 安全衛生委員会 毎月1回最終火曜日

防災訓練 年11回

監査・防災訓練の実施状況

月	監査等	防災訓練
4		3日 防災の基礎研修、消火訓練
5	21日 監事監査(決算)	13日 防災担当連絡会
6		10日 総合訓練(昼間・火災) 28日 自衛消防技術発表会
7	9日 東京都検査品川区大井林町高齢者住宅	8日 非常食の取扱い
8		19日 防災監視盤の取扱い(火災時)
9		8日 総合訓練(昼間・地震・津波)
10		13日 総合訓練(夜間・地震・津波)
11	6日 品川区社会福祉法人指導検査	10日 総合訓練(昼間・地震・津波) 10日 大井消防署主催「みんなで自衛消防訓練」参加
12		9日 防災担当連絡会
1		13日 消火器・2号消火器取扱い
2		
3		4日 大井消防署主催「みんなで自衛消防訓練」参加

※ 防災訓練は震災および総合訓練に重点を置いて実施しました。

各実地検査における指摘事項について、指導に基づき改善を行いました。

(7) 総務部内の外部研修参加状況

7月24日	介護経営セミナー 知らないと怖いマイナンバー	2名
8月3日	ストレスチェック制度の概要と導入について	1名
9月1日	福祉施設・事業所に求められるマイナンバー制度の理解と対応	1名
10月19、30日	平成27年度福祉施設経営基礎研修	2名
10月15日	労働者派遣制度の見直しについて	2名
1月7日	管理職のためのメンタルヘルス講習会	1名
1月14日	社会福祉法人の運営等に係る講習会	1名
1月22日	人事労務管理講習会 職場におけるハラスメント	1名
2月9日	社会福祉法人制度改革対応セミナー	2名
3月9日	福祉職のためのメンタルヘルス講習会	1名

(8) サービス向上への取り組み

1) ご意見箱に寄せられたご利用者ならびにご家族の苦情・要望、ご意見に対する回答を2週間以内に施設掲示板に掲示しています。

2) 苦情解決体制

- ア 責任者 古川常務理事 (法人全体で共同設置)
- イ 受付担当者 事業所(部門)責任者 (事業所単位で設置)
- ウ 第三者委員の選任・委嘱 (法人全体で共同設置)
 - 西川祥子 (民生委員協議会大崎第一地区会長 さくら会評議員)
 - 松尾光恵 (民生委員協議会大井第一地区会長 さくら会評議員)
 - 田尻成樹 (民生委員協議会大井第一地区副会長 さくら会評議員)

エ 苦情解決・サービス向上委員会の開催

寄せられた苦情・要望、ご意見とその対応、発生した事故とその対応について月に担当者が報告、法人全体で情報を共有し、サービスの向上に取り組んでいます。また、6月、11月には、第三者委員に出席していただき指導・助言を受けました。

オ 平成27年度苦情・事故件数

苦情(受付方法別件数)

	ご意見箱	電話	来所時	訪問時	区	口頭	文書	その他	合計
件数	7	5	1			4	1	9	27

苦情(サービス種別件数)

	老健入所	老健通所	南大井 デイ	月見橋 の家	ヘルプ	在支	小規模 多機能	不明	計
件数	15		4	2	1	1	1	1	27

事故(原因別発生場所内訳)

	入所 2階	入所 3階	老健 通所	南大井 デイ	訪問 介護	月見橋の 家	小規模 多機能	給食	合計
転倒	1	2	3	1	4		1		12
誤投棄	2	3	1	2	1		2		11
無断外出	1					1	3		5
感染症	5		1			1			7
その他	5	2	3	7	3	1	6	4	31
合計	14	7	8	10	8	3	12	4	66

事故（原因別結果内訳）

	骨折	打撲	裂傷	疥癬	刀の傷	インフルエンザ	他	合計
転倒	3	2	3				4	12
滑落								
誤投薬							11	11
無断外出							5	5
感染症				3		3	1	7
その他			1				30	31
合計	3	2	4	3		3	51	66

(9) 職員定期健康診断等

- 1) 全職員対象 7月
- 2) 夜勤者対象 3月
- 3) インフルエンザ予防接種 10月

(10) 地域交流

1) 「第14回さくら会まつり」

11月1日(日)に、大井第一町会連合会を始めとする地域の方々や、関連団体、ボランティアの皆さんのご協力の下、開催しました。約500名の方々にご来場していただき、ステージボランティアを含め約190名のボランティアの方々にお手伝いしていただきました。

2) 広報誌「さくら会だより」の編集発行

7月、10月、1月の、年3回発行。

3) ボランティア

ボランティアの新規登録受付および更新手続きを行いました。また、6月21日に「ボランティア交流会～日頃の感謝を込めて」を開催し、32名のボランティアの皆さんに参加いただき、ボランティアの皆さん同士や職員との意見交換・交流を図りました。

4) 地域貢献ポイント事業への協力

平成20年4月事業が開始されてから南大井事業部では80名の方に登録していただき、多くの皆さんからポイントのご寄付を頂きました。

平成27年度ボランティア活動実績

年間計

単位：人（延べ）

通所	2階	3階	水中運動	ハイツ	月見橋	大井林町	その他	合計
1,300	362	432	31	12	249	85	41	2,512

担当別集計

単位：人

	通所	2階	3階	ハイツ	月見橋	大井林町	その他	合計
環境整備		1	1					2
傾聴		1	6					7
見守り			2			1		3
お茶出し					4			4
入浴	2							2
陶芸	5							5
手芸	9							9
囲碁・将棋	3				1			4
園芸	1	2						3
料理おやつ	1	2	1					4
書道	2	1	1		2			6
音楽	1	3	1	1				6
水中	1							1
絵手紙	1							1
朗読	1							1
演奏、イベント	5	5	2		3	1		16
寺子屋、塗り絵		5						5
卓球	1							1
マシン	3							3
庭園の世話							2	2
合計	36	20	14	1	10	2	2	85

・その他、行事別 さくらまつり 179人、クリスマス会 51人、敬老会 30人、盆踊り 9人、新年会 5人

(11) 職員研修

27年度の職員研修では、さくら会の4つの基本理念を具現化し、認知症研修・メンタルヘルス研修・リスクマネジメント・救急対応やテクニック研修等を実施してまいりました。職員の経験、能力、職層に合わせた研修体系により、キャリアパスを明確化するため、内容の充実を図りました。

1) 職層別研修概要

	一般職員	一般職員上級	主任	係長
施設内研修	新入職員研修	リスクマネジメント研修		労務管理研修
	フォローアップ研修	チームワーク実践研修	メンタルヘルスケア研修	
	平成27年度法改正を踏まえた取組について			
	個人情報保護法			
施設外研修		企画/プレゼン研修	苦情対応研修	係長・管理職研修
		ケアプラン ステップアップ	他施設体験研修	苦情解決リスク マネジメント研修
			企画力向上研修	企画力向上研修
			コーチング研修	
		指導職研修		

2) 一般職員研修 ※全体（共通）研修を含む

月 日	研修タイトル	講師	参加人数
4月1日 ～3日	新入職員研修(1回目)	各部門所長	1日9名 2日8名 3日7名
5月13日	「地域包括ケア推進PJの報告 及び 平成27年度の取り組みについて」	澤井所長、竹内所長	99名
6月11日	新人フォローアップ研修 I	各部門所長	9名

月 日	研修タイトル	講師	参加人数
6月25日	「感染症の基礎知識と集団発生予防の管理とは」	東芝病院 感染管理認定看護師 坂口みきよ看護師	34名
7月8日	「高齢者虐待研修」	NPO法人 メイアイヘルプユー 代表 理事 鳥海 房江	52名
7月9日	普通救命・AED	大井消防署	10名
8月27日	成年後見制度研修	品川成年後見センター 所長 齋藤 修一氏	26名
10月2日	明日から使える快適な排泄	王子ネピア株式会社 西田 貴紀氏	28名
10月22日	新人職員研修(2回目)	各部門所長	5名
10月15日	「認知観を育てるためにケアの姿勢と基本的な考え方を学ぶ」	品川区中延特別養護老人ホーム 市本 洋氏	40名
11月13日	リスクマネジメント研修	介護リスクマネージャー 佐々木 和子氏	24名
11月19日	冬の感染症対策と ノロウイルス 対策検討会	品川区保健所 生活衛生課 前原敦子氏	40名
12月3日	「高齢者の救急時のアセスメントと看護のポイント」	日本看護協会 看護研修学校 桑村 直樹氏	34名
12月11日	メンタルヘルス研修	東京産業保健推進センター 精神保健福祉士 近藤雅子氏	24名
1月22日	チームワークとコミュニケーション	品川介護福祉専門学校 岩本加奈子氏	21名
2月18日	家族援助	品川介護福祉専門学校 永瀬一郎氏	32名
3月11日	認知症事例検討	東横恵愛病院院長 石垣達也先生	41名

3) 一般職上級・主任研修

11月13日	リスクマネジメント研修	介護リスクマネージャー 佐々木和子氏	24名
--------	-------------	-----------------------	-----

4) 係長研修

12月11日	メンタルヘルス研修	東京産業保健推進センター 精神保健福祉士 近藤雅子氏	24名
--------	-----------	-------------------------------	-----

5) 管理職研修

2月12日	管理職の使命と役割、成長する組織文化の熟成	日本女子大学 人間社会学部 久田 則夫教授	11名
3月16日	チームワークと職員間コミュニケーション		10名

6) 普通救命講習(AED講習含む)

さくら会全職員が取得することを目的として、毎年開催。

7月9日 「普通救命とAEDライセンス」 大井消防署 参加者 10名

(12) 災害対策

「震災対応マニュアル」に基づき、より実践的な震災対応訓練を3回実施、検証しました。

2 ケアセンター南大井（入所・ショートステイ）

（1）活動報告

品川区内に唯一の介護老人保健施設として、介護が必要で病状が比較的安定している高齢者を対象に、看護、リハビリテーションなどの医療ケアと、介護などの生活支援サービスを提供し、一日も早い在宅生活への復帰と在宅生活の継続を支援しました。

より多くの区民の方に利用していただけるよう、稼働アップの取組みを積極的に行いました。入所部屋を有効に利用していただけるよう、居宅支援事業所や医療機関などへ待機状況を情報提供し、入所・ショートステイの PR 活動を積極的に行いました。一方、生活困窮により利用料金の支払いが難しい方については、経済的な理由で必要なサービスを受ける機会が制限されることがないように、無料低額診療事業のご案内や個別相談等、対応しました。

稼働については、区内外の有料老人ホームや特養等の希望者の増大等、社会的背景の影響、在宅サービスの充実等、新規利用者の獲得が難しい状況が続きました。ここ数年、医療難易度の高い方の申し込みが増える一方で、なるべくご利用して頂けるよう努力を致しましたが、心不全や肺炎、脳梗塞など緊急入院となるケースも多く、平成 27 年度の年間平均稼働率 91.6%（上期：92.5%、下期：90.6%）、と 98%の目標は達成できませんでした。在宅復帰率については、ご利用者個々の能力や本来の力を引き出し、自立支援に取り組みました。また積極的に助言、提案を行った結果、在宅復帰率 50%を達成する事ができました。

毎年受講している、品川福祉カレッジ『認知症ケア専門コース施設ケア研修』においては、介護士だけでなく医療の分野から看護師も参加し、“夜間しっかり寝る事で昼間元気に過ごす”というテーマに取り組みました。フロア全体の協力を得ながら、本人に合った個別ケアを検討していく中で、就寝介助時の環境づくりや、日中の活動をどのように充実させていくか等、さまざまな気づき、手ごたえを感じる事ができた発表となりました。

平成 27 年度品川福祉保健従事者実践・研究発表会では“在宅生活継続のための取組み”についての発表を行いました。一般棟、認知症専門棟からそれぞれケースを挙げ、在宅生活の充実化に結びつけるため、多職種協働の実践から、どのような効果があるのかを見直しました。利用者本人が在宅生活を望んでいても生活環境や家族の支援が難しく、施設生活を継続せざるを得ないご利用者も数多くいるのが現状ですが、ケアの工夫やご家族への関わりを増やし、在宅生活の実現が可能な形を見出すことで、在宅での生活が出来る方を更に増やしていきたいと、在宅復帰・在宅支援に対する気持ちを新たなものにしました。

昨年度は連続的なインフルエンザや感染性胃腸炎等の感染症に悩まされましたが、27 年度は適宜、流行等の情報を得ながら細やかに対策を講じた結果、重症化や感染拡大することなく終息する事ができました。

(2) ご利用者の状況

1) 稼働状況 (定員 2階 56名 3階 44名 合計 100名 ショート含む) (単位：%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
2階	95.4	93.1	98.0	94.3	100	97.4	90.8	90.0	91.9	95.4	96.7	97.0	95.0
3階	95.1	75.7	79.8	91.9	90.2	93.0	75.2	80.2	88.7	88.6	96.7	91.9	87.3
全体	95.3	85.5	90.0	93.3	95.8	95.5	84.0	86.0	90.5	92.5	96.7	94.7	91.6

2) 在宅復帰率・他

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
平均所在日数(日)	68.1	83.4	87.9	90.6	90.10
在宅復帰率(%)	74.7	55.9	51.0	54.0	50.2
平均介護度(%)	2.6	2.7	2.8	2.7	2.8

3) 施設サービス利用状況

①入所前後の居所の状況 (単位：%)

	入所前の居所					退所後の居所				
	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
在宅	79.8	73.9	77.9	70.6	63.5	72.2	70.4	66.3	65.5	62.1
老健	0.5	0.8	0.3	0.3	0.3	9.0	3.5	5.7	7.1	7.3
病院	16.3	20.0	18.5	24.8	31.2	11.1	16.7	14.0	17.4	19.1
その他	3.4	5.3	3.3	4.3	5.0	7.7	9.4	14.0	10.0	11.5

②退所先(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
特養	2	2	1	3	2	1		1	3		3	1	19
老健	6	1	4	2	1	1	1		2	3	2		23
有料老人ホーム、他	3	1		4	1		2	2		2	2	2	19
グループホーム	1										1	1	3
サ付高齢者住宅				1									1
養護老人ホーム							1						1
経費老人ホーム									1				1
合計	12	4	5	10	4	2	4	3	6	5	8	4	67

4) 入院者状況

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2階一般棟	6	2	4	8	1	4	3	2	2	2	2	3	39
3階認知症専門棟	4	2	3	1	2	0	1	3	4	6	1	1	28
合計	10	4	7	9	3	4	4	5	6	8	3	4	67

5) ショート利用状況

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用申込数	60	57	52	54	55	48	53	63	59	47	40	48	636
実利用者数	54	53	45	46	44	48	54	55	49	42	46	46	582
利用延人数	324	365	327	251	256	299	377	360	297	273	307	329	3,765
1日平均利用者数	10.8	11.8	10.9	8.1	8.3	10.0	12.2	12.0	9.6	8.8	10.6	10.7	10.3

(3) リハビリ実施状況

1) クラブ活動参加者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(人)	総計(人)
園芸クラブ	23	22	21	21	22	23	23	20	22	24	22	22	265	1,553
寺子屋クラブ	68	56	42	76	71	71	66	56	48	51	63	100	768	
書字クラブ	33	26	45	37	26	58	44	33	56	46	55	61	520	

2) リハビリ参加者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計(人)
短期集中リハビリ	589	627	792	799	993	635	689	645	707	737	764	628	8,605
認知症短期集中リハビリ	33	36	54	50	33	21	4	0	4	12	29	31	307
個別リハビリ	94	114	96	65	65	99	92	74	77	71	83	90	1,020

(4) 実施した行事内容

7月 盆踊り見学(区民まつり)

9月 敬老会

大井消防少年団高齢者福祉施設訪問

12月 クリスマス会

1月 新年会(ヘブンアーティスト『東京寄席芸能ゆりかもめ』の皆様)

2月 東京大井ロータリークラブ来会

1) その他

居酒屋さくら(毎月第2火曜)

おやつバイキング(毎月1回)

園芸クラブ(毎月1回)

歯科健診(毎月第3水曜)

(5) 無料又は低額介護老人保健施設利用事業実績（短期入所を除く）

1) 減免数

(単位：延数)

入所者総延数 A	減免対象件数 B			実績率 B/A
	生活保護受給者	無料・低額者	合計	
29,753	1,926	1,195	3,121	10.49%

2) 月別利用者数

(単位：延数)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所者 総延数		2,534	2,285	2,374	2,640	2,714	2,566	2,226	2,210	2,508	2,591	2,497	2,608	29,753
減 免 対 象 内 訳	無料低額者	60	62	30	31	31	29	0	69	135	180	258	310	1,195
	生活保護 世帯	215	244	227	157	99	60	62	78	161	212	203	208	1,926

(6) 実習生受け入れ（見学研修含む）

- 1) 品川介護福祉専門学校（1・2年生） 13人
- 2) 女子栄養大学（3・4年生） 6人
- 3) 東芝病院看護師見学研修 10人
- 4) 鈴ヶ森中学校キャリア体験実習（3日間） 2人

計 31人

(7) ボランティア受け入れ

(人)

内 容	2階	3階	合計
環境整備・シーツ交換	1	0	1
傾 聴	1	6	7
園 芸	1	0	1
おやつ	2	1	3
書 道	0	1	1
寺子屋・塗り絵	5	0	5
音 楽	1	1	2
居酒屋さくら	2		2
演奏・イベント	5	2	7

(8) その他

青い鳥チャイルドケアセンター カンナリアコーラス
 アミカ品川（手話ダンス） マルガリーター（マンドリン）

(9) 研修

1) 内部研修

	研 修 内 容	参加人数(人)
5月	緊急対応について(吸引・心肺蘇生・AED等)	22
6月	無断外出の対応について	27
7月	ケース検討会(リハビリ事例検討)	24
8月	ケース検討会(3階介護) 認知症の方への声かけや対応について	20
9月	ケース検討会(2階介護) 事例検討	21
10月	感染症予防について(感染症流行期を前に)	24
11月	高齢者虐待について	22
12月	ケース検討会(看護師) 排便コントロールについて	24
1月	平成28年度事業計画作成・検討会	15
2月	認知症ケア専門コース 施設ケア研修成果発表会	22
	合 計	221

2) 外部研修

	研 修 内 容	参加人数(人)
健康福祉事業部	新任職研修	4
品川福祉カレッジ	認知症ケア専門コース 地域型基礎研修パワーアップⅠⅡ	1
	認知症ケア専門コース 施設専門研修	3
	リハビリテーション専門講座	1
	医療専門講座	2
	口腔機能向上・ケア講座「お口と健康の深～い関係を学びましょう」	1
	口腔機能向上・ケア講座 ステップアップ講座	1
	看取りケア	1
介護福祉士実習指導者講習会		1
	高齢者の転倒予防アセスメント	1
	高齢者の結核の知識と支援(区)	1
	結核予防講演会「高齢者の結核と施設における結核対策」(都)	1
	医療的ケア(喀痰吸引)研修	1
	東京都認知症介護実践者研修	1
	高齢者施設における感染症危機管理～接触感染・飛沫感染の予防について(都)	1
	地域リハビリテーション専門人材育成研修初任者研修	1
	成人のアレルギー疾患研修	1
	メディカルフーズ展2016	1
	摂食・嚥下の問題を解決できる身体機能・リハビリ技術とその活かし方	1
	リクルートキャリア3年目研修	1
	合 計	26

3) 研究発表

- ①平成27年度品川福祉カレッジ『認知症ケア専門コース施設ケア研修』
テーマ“夜間しっかり寝る事で昼間元気に過ごす”

- ②平成27年度品川福祉保健従事者実践・研究発表会
テーマ“在宅生活継続のための取組み”

3 ケアセンター南大井通所リハビリ

(1) 活動報告

1) デイケア事業

品川区における高齢者のリハビリテーションシステムの中核施設としての役割を担い、ご利用者一人ひとりの在宅生活継続を目的とし、歩行訓練をはじめ、日常生活動作のトレーニングなどのリハビリサービス提供に努めています。

また、社会的孤立感の解消や心身機能の維持、家族の身体的・精神的負担の軽減を図るために、日常生活への支援、機能訓練の援助を行いました。

2) 27年度の重点目標に対して

ア 平成27年度は利用定員50名に対し、年間平均稼働率82%（41名）を目標とし、結果的に年間平均稼働率86%（43名）と当初の目標を大きく上回りました。また、年間収入においても予算を大きく上回りました。

イ 平成27年度は品川区より受託しております「地域包括支援センター等における介護予防機能強化推進事業」においては、「予防事業視察」と「事業者向けの研修」を計画的に行いました。

ウ 平成27年度においては、自立支援に向けた取り組みとして理学療法士等による訪問指導を積極的におこない、在宅生活を意識したリハビリに努めました。

エ 介護予防事業である「水中トレーニング」、「マシンでトレーニング」を提供する中で個別運動プログラムにおいて利用者の身体能力向上に貢献できました。

オ 区、各支援センターと連携を図り、地域住民に対して健康増進の目的で8月（参加69名）と1月（参加49名）に特定高齢者把握事業の実施及び近くの集会場や民生委員協議会に出向き介護予防啓発活動を行いました。

カ 職員の定着率をあげる取り組みとして、OJTの充実や研修を通して職員のストレスチェックを実施しました。

キ 平成27年度は介護保険制度の改正に伴い、積極的に勉強会を行いました。

ク 震災時を想定した防災訓練を4月（通所内訓練）に実施しました。

3) 通所リハビリテーションご利用者数

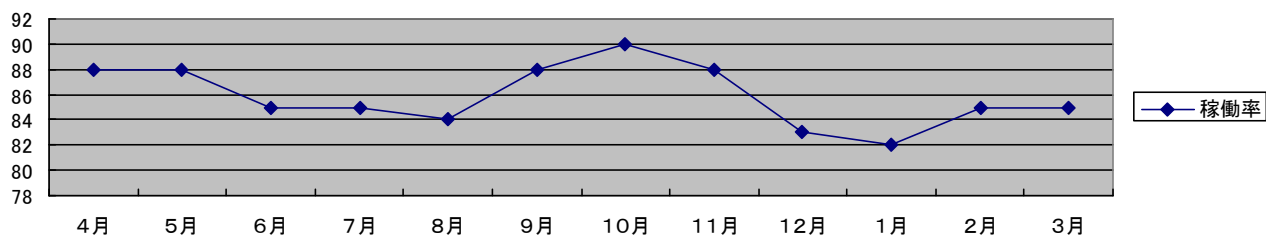
月あたりの利用人数（単位：延べ人数）

定員50人／1日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均稼働
利用延数(人)	1,098	1,007	1,108	1,108	1,097	1,011	1,175	1,016	953	939	1,019	1,104	12,635	
稼働日数	25	23	26	26	26	23	26	23	23	23	24	26	294	(実施日/月)
稼働率(%)	88	88	85	85	84	88	90	88	83	82	85	85		86

小数点以下四捨五入

通所リハビリテーション年間稼働率推移



4) 通所リハビリテーションご利用者の要介護度 (単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	比率 (%)
要支援 1	22	18	16	17	15	15	18	19	20	21	21	19	221	8%
要支援 2	26	24	29	26	26	25	28	24	24	24	26	26	308	12%
要介護 1	66	71	73	75	70	72	76	79	74	69	69	72	866	32%
要介護 2	49	45	47	42	45	47	46	45	46	45	48	48	553	21%
要介護 3	32	37	32	31	35	36	40	33	30	26	30	30	392	15%
要介護 4	23	21	22	22	20	17	17	20	21	19	20	16	238	9%
要介護 5	6	6	7	7	6	7	8	8	11	7	7	5	85	3%
計	224	222	226	220	217	219	233	228	226	211	221	216	2663	100%

平均介護度 1.8

5) 予防事業

① マシンでトレーニング事業 (定員 12名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
稼働日数	5	4	4	5	4	2	5	4	4	4	3	4	48	
利用者 実人数(人)	14	14	14	14	13	13	14	14	14	14	14	14	166	平均稼働
延べ人数	65	54	52	61	45	25	60	37	38	49	35	45	566	(人/月)
稼働率 (%)	108	113	108	102	94	104	100	77	79	102	97	94		98

② 水中運動 (水曜日定員 12名 土曜日定員 16名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
稼働日数	8	8	8	9	9	6	9	8	8	8	8	7	96	
利用者 実人数(人)	22	22	23	21	24	22	24	24	23	20	21	20	266	平均稼働
利用延数 (人)	67	77	75	84	91	60	82	77	73	78	74	61	899	(人/月)
稼働率 (%)	70	80	78	78	84	83	76	80	76	81	77	73		78

小数点以下四捨五入

③水中トレーニング

(定員水曜日8名 土曜日4名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
稼働日数	9	8	8	9	9	5	9	8	8	8	8	7	96	
利用者 実人数(人)	12	12	12	11	10	10	12	12	12	12	12	12	139	平均稼働
利用延数 (人)	51	41	33	40	35	26	47	46	44	42	40	40	485	(人/月)
稼働率(%)	91	93	69	71	67	81	90	96	92	88	83	91		84

6) 実習生の受入れ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
東京衛生 学園										1			1
東都 リハビリ	4						5						9
首都医校							1						1
昭和大学							2						2

その他 筑波大学付属視覚特別支援学校施設見学 東京衛生学園施設見学

4 南大井在宅サービスセンター

(1) 活動報告

1) デイサービス事業

身体の障害や認知症により、家に閉じこもりがちになるご高齢者の方々に、食事や入浴などの各種生活支援のためのサービスを提供させていただいています。また、ご利用者お一人おひとりが、いきいきとお過ごしいただくために、個別介護計画に基づき機能向上トレーニングや個別機能訓練や各種アクティビティプログラムなど、きめ細やかなサービス提供に努めました。

2) 27年度重点目標に対して

- ア 事業の安定化をはかるために、当初設定していた年間平均稼働率87%を超え、88%の稼働率を達成いたしました。
- イ 職場の環境整備及び職員の質向上を図る観点から年間研修計画に基づき、職層及び職種別に効率的な研修が実施できました。
- ウ 介護予防事業である「ミニデイサービス」においては自主性を重んじ、クリスマス会や夏祭りでは利用者が積極的に活動に参加出来る様に促しました。
- エ 個別性の高いケアを提供するために、計画書に基づいた個別プログラムを提供しました。また、介護保険制度の改正を受け、品川区独自のサービスとして支援の方達を対象に、介護予防・日常生活支援総合事業及びいきいき活動支援プログラム事業を実施しました。
- オ 職員同士の連携をはかるために、継続的にフロアーミーティングや研修会を月1回～2回程度実施しました。
- カ 利用者の在宅生活継続を図るうえで、ご利用者並びに家族支援として、7月に「歯科医師から学ぶ高齢者の口腔ケア」(22名参加)、2月に「介護者のための膝の体操」(26名参加)を実施しました。
- キ 法令遵守を図るうえで、コンプライアンス会議を実施しました。また年間3回の内部実地指導にて帳票類の確認を行いました。
- ク 震災対策として4月(通所内訓練)に実施しました。
- ケ 品川区より受託した「地域包括支援センター等における介護予防機能強化推進事業」において、品川区と協議しながら、予防事業所視察及び「事業者向け研修」を実施しました。

3) 南大井在宅サービスセンターご利用者数

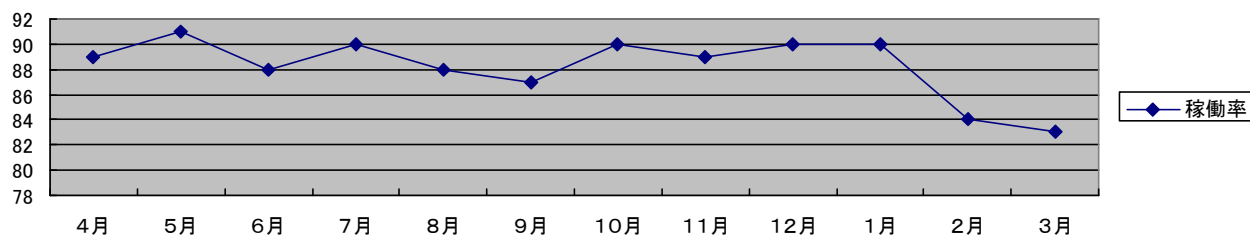
①月あたりの利用人数(単位:延べ人数)

定員25人/1日(障害者含む)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
利用延数(人)	578	589	569	607	571	567	605	555	586	539	527	561	6,854	平均稼働
稼働日数	26	26	26	27	26	26	27	25	26	24	25	27	311	(人/1日)
稼働率(%)	89	91	88	90	88	87	90	89	90	90	84	83		88

小数点以下四捨五入

通所介護年間稼働率推移



4) 南大井在宅サービスセンターご利用者の要介護度

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	比率(%)
非該当	1	5	4	8	11	3	3	5	5	6	6	5	62	5%
要支援1	23	22	22	19	14	20	18	16	15	14	13	11	207	17%
要支援2	16	15	13	11	9	14	13	13	12	12	11	11	150	13%
要介護1	30	27	29	29	30	29	32	30	31	31	31	31	360	30%
要介護2	15	14	14	10	11	12	13	11	15	15	11	10	151	13%
要介護3	5	6	7	8	10	9	10	10	10	11	8	8	102	9%
要介護4	12	12	11	11	12	12	9	9	8	8	7	6	117	10%
要介護5	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	36	3%
計	106	104	103	99	100	102	101	97	99	100	90	84	1,185	100%

*認定を受けていない方の利用

平均介護度 1.6

5) 予防事業

① 予防ミニデイ事業

(定員50名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
稼働日数	4	4	4	4	5	3	4	4	4	4	4	4	48	
利用者登録人数(人)	63	63	62	61	61	59	60	59	59	60	60	60	727	平均
利用延数(人)	209	203	216	208	266	157	204	188	195	211	211	199	2467	(人/月)
稼働率(%)	105	102	108	104	106	105	102	94	98	106	106	100		103

小数点以下四捨五入

(2) 配食サービス

在宅の高齢者を支援するため、栄養バランスのとれた昼食を提供するとともに食生活に関する相談、指導も行っています。また、安否の確認や施設に関する情報提供も行いました。

① 配食利用者(定員10人/1日)

(単位：延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
稼働日数	25	23	26	26	26	23	26	23	23	25	24	26	296	平均稼働
利用延数(人)	128	118	140	140	122	139	164	141	146	137	135	134	1,644	(人/日)
稼働率(%)	51	51	54	54	47	60	63	61	63	55	56	52		56

(3) 月行事内容

4月	お花見ドライブ、兜のちぎり絵	5月	庭園ティーパーティー
6月	うちわづくり、七夕飾り	7月	風鈴作り
8月	夏祭り、合同作品展見学	9月	貼り絵、敬老の祝い
10月	秋の大運動会	11月	クリスマスリース、さくら会まつり
12月	クリスマス会、カレンダー作り	1月	お正月ゲーム、書初め
2月	節分豆まき、雛人形作り	3月	お菓子作り

その他

- 7月 「歯科医師から学ぶ高齢者の口腔ケア」(22名参加)
- 8月 特定高齢者把握事業への協力(69名)
- 10月 南大井通所サービスに関する満足度調査を実施(227名回収)
- 1月 特定高齢者把握事業への協力(49名参加)
- 2月 介護者対象の懇談会及び家族介護者教室「介護者のための膝の体操」の実施(26名参加)

(4) 曜日別レクリエーション

- 月曜日 絵手紙 園芸クラブ 火曜日 音楽クラブ カラオケ 囲碁・将棋 手芸
- 水曜日 陶芸クラブ 木曜日 書道教室 手芸 金曜日 手芸
- 土曜日 手芸 朗読ボランティア 民謡
- その他 料理 ハーモニカボラ 保育園児・小学校児童との交流会 フラダンス
手話ダンス 日常生活動作(ADL)訓練等

(5) 会議

会 議	開催頻度	内 容	参加者
通所判定会議	毎週水曜日	利用希望者の目標・目的の確認 ご利用者情報の確認 訪問予定日の調整・確認 サービス利用開始日の調整・確認	相談員 看護師 理学・作業 療法士
係長/主任会議	毎週水曜日	部内運営方針の確認・検討 業務課題の検討、改善、確認 業務連絡・調整	通所所長 通所係長 通所主任
主任会議	月1回水曜日	現場業務の見直し	係長 主任
コンプライアンス委員会	月1回程度	介護保険制度の情報共有	相談員 介護・看護等
全体ミーティング	月1回程度	業務課題の検討、改善、確認 業務連絡・調整、OJT	職員全員
研修及びカンファレンス	隔月 月1回	ご利用者の処遇検討、見直し 研修会	職員全員
朝礼・夕礼 ミーティング	毎 日	ご利用者情報の申し送り・確認 業務連絡	職員全員

(6) 南大井通所職員研修 (部内・外部・法人研修等)

実施月	部内研修等	人数	個別・外部	人数	法人全体	人数
4月	通所防災訓練	13名			新人研修	2名
5月					「事業計画発表会」	12名
6月	全体ミーティング 業務の見直し	21名			感染症の基礎知識 新人フォローアップ研修	13名 3名
7月	リスクマネジメント研修 「無断外出」 運動器機能向上研修	14名 7名	医療・介護同時改定に 向けた事業戦略	1名	新人研修 高齢者虐待 普通救急救命	1名 9名 1名
8月	コミュニケーション研修	13名			成年後見制度	11名
9月	防災研修「防災監視盤の使用 方法」	11名	介護サービス事業者 支援研修 リクルートキャリア 研修	1名 1名		
10月	通所サービスに関わる必 要書類について	12名	介護福祉事業従事者 人権研修	1名	明日から使える快適な排泄 認知症観を育てるケアの姿勢と基 本的な考え方 新人研修Ⅱ	7名 9名 2名
11月	感染症実技 「ノロウイルス」 リスクマネジメント研修 「年間事故報告」	16名 10名			事例より考えるひやりハット 冬の感染症とノロウイルス講義	8名 11名
12月					高齢者の救急時のアセスメントと 看護のポイント メンタルヘルス研修	9名 8名
1月	事故対策委員事故分析報 告 介護技術研修～利用者ご との介助	12名 14名			チームワークコミュニケーション	12名
2月	職員のストレス解消とス トレスが虐待につながる ケース	7名			家族援助	5名
3月					認知症事例検討	7名

その他 新人研修・階層別研修・交流会・事業計画発表会・人事考課訓練・防災訓練・等

(7) 実習生の受け入れ

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
品川介護福祉 専門学校		4											4
昭和大学医学部 附属専門学校				2									2
池見東京歯科									6				6
計		4		2					6				12

その他 浜川中学体験ボランティア 浜川小学校児童訪問 鈴が森小学校キャリア体験

(8) ボランティアの受け入れ

書道ボランティア	2名	絵手紙ボランティア	1名
陶芸ボランティア	5名	手芸ボランティア	8名
囲碁・将棋ボランティア	3名	入浴ボランティア	2名
水中ボランティア	1名	マシンでトレーニング	3名
卓球ボランティア	1名	計	26名

その他 朗読ボランティア ハーモニカ演奏ボランティア 民謡ボランティア 手話ダン
スボランティア 行事ボランティア 幼稚園・保育園児来所 フラダンス 等

5 品川区立月見橋在宅サービスセンター

(1) 活動報告

・「月見橋の家」では、画一的なサービス提供時間に問われることなく、利用者のニーズおよび家族のニーズを的確に捉え、短時間利用や延長利用、臨機応変な送迎時間など柔軟な対応を行いました。

・利用者の嗜好をアセスメントし、個別的な活動プログラムの充実を図ることにより顧客満足度の向上に努めました。

(2) 27年度重点目標に対して

区立施設の指定管理者として、本年度もご利用者に選ばれる質の高いサービス提供をはかるために、研修計画に基づいた各種研修を実施し職員の質の向上に努めてまいりました。

「地域包括ケアシステム」構築の一環として、認知症カフェ「スマイルカフェさくら」の運営に参加し、年間4回開催しました。

ア) 1階フロアー

・地域密着型サービス（認知症対応型通所介護および介護予防認知症通所介護）については、利用者一人ひとりの状況に合わせたケアの充実を図るために積極的にセンター方式を活用し、ご家族はじめケアマネジャー、かかりつけ医、関係機関との連携を密にしてまいりました。

・「地域包括ケア推進プロジェクト」事業の一環として「認知症ケア研究会」に参画し、事業所ごとの事例研究の成果発表を年度内に実施することが出来ました。

イ) 2階フロアー

・今年度より事業が開始された「品川区介護予防・日常生活支援総合事業」「いきいき活動支援プログラム」においてはプログラムが充実したことで選択肢が増え、予防事業対象者からは「張り合いがある」、要介護者からは「一緒に参加したい」との声が聞かれ、双方にとって良い刺激になるなど、介護予防に努めてまいりました。

ウ) 事業運営の安定

・年間平均稼働率85%を目指した結果、1階73%、2階92%、全体平均稼働率78.6%でした。前年度と比べると1階、2階それぞれ4%のプラスとなり、全体では3.8%のプラスとなりました。

・在宅介護支援センターや居宅事業所へ毎月2回訪問し「空き情報」を提供する他、地域医療機関、薬局、民生委員集会等へ出向き事業所紹介、パンフレットを配布する等、認知度の向上に努めます。

エ) ご家族との連携

・毎月第3土曜日に家族会を開催し、ご家族同士の情報交換の場として、また職員からの情報発信、意見交換の場として活動をしてまいりました。

・今年度の介護者教室は2回開催し、利用者ご家族、一般区民の方々が1回目（10月）は20名、2回目（3月）は17名の参加がありました。

・2月には例年通り、登録されている全てのご利用者、ご家族様に対して「サービス

満足度調査」を実施いたしました。現在のサービス、ケアについて「大変満足」「満足」との評価をいただきました。

オ) レクリエーション・各種クラブ活動

- ・1階フロアでは機能訓練として馴染のある「ラジオ体操」はじめ指や歌に合わせた「リズム体操」、棒を使った「棒体操」等の身体を動かすもの、「ちぎり絵」の合同作品づくり、また季節や風習を感じていただくような環境づくりなど内的、外的から心身の活性が出来るように実践しました。

- ・2階フロアではご利用者からの要望として「生活リハビリを兼ねた外出」「料理・おやつ作り」など手先を使ったプログラムを中心として実施いたしました。その他、全体として「園芸」「七福神初詣」「お花見」など季節を感じていただくプログラムを実践しました。

カ) 防火・防災への取組み

- ・ご利用者の「安全・安心」を第一に考え、定期的に防災訓練等を実施いたしました。6月 「平成27年度自衛消防技術発表会」に参加し、消火栓操法技術を高めました。また、9月～12月は震災マニュアルを使用し、法人全体で震災訓練を実施し、マニュアルの検証および修正をいたしました。

8月・12月 1、2階それぞれのフロアからの出火想定による消火訓練および避難、通報訓練を実施しました。

(3) ご利用者の状況

ア) 利用状況

1F 定員24人／1日(12人×2ユニット)月あたりの利用者(単位:延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
実績	406	431	419	498	485	489	520	451	451	398	430	468	5446	(1日当) 17.5人
実施日	26	26	26	27	26	26	27	25	26	24	25	27	311	25.9日
稼働率	65.1	69.1	67.1	77.0	78.0	78.4	80.2	75.2	72.3	69.1	72.0	72.2		73.0%

2F 定員10人／1日(10人×1ユニット)月あたりの利用者(単位:延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
実績	230	228	237	243	237	238	238	228	258	227	238	253	2855	(1日当) 9.2人
実施日	26	26	26	27	26	26	27	25	26	24	25	27	311	25.9日
稼働率	88.4	88.0	91.2	90.0	91.2	92.0	88.2	91.2	99.2	95.0	95.0	94.0		92.0%

イ) 介護度別利用状況

1 階ご利用者の要介護度

平均介護度 2.6

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	114	121	118	146	161	151	150	134	126	125	136	155	1,637
要介護2	74	98	97	109	94	112	110	103	109	84	77	86	1,153
要介護3	105	109	98	116	102	95	104	76	75	78	110	110	1,178
要介護4	64	54	58	62	66	62	77	73	71	65	63	78	793
要介護5	49	49	48	65	62	69	79	65	70	46	44	39	685
実績	406	431	419	498	485	489	520	451	451	398	430	468	5,446

2階ご利用者の要介護度

平均介護度 1.1

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
予防事業Ⅰ 要支援1	22	15	12	12	7	9	10	12	11	12	16	19	157
予防事業Ⅱ 要支援2	21	34	44	45	25	31	26	22	21	15	12	8	304
要介護1	145	138	135	139	158	154	164	152	182	162	161	177	1,867
要介護2	42	41	46	47	47	44	35	38	34	32	41	40	487
要介護3	0	0	0	0	0	0	3	4	10	6	8	9	40
要介護4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実績	230	228	237	243	237	238	238	228	258	227	238	253	2,855

(4) 実施した行事内容

- 4月 お花見
- 5月 5月人形飾り・お茶会
- 6月 料理づくり
- 7月 七夕飾りつけ
- 8月 ミニ縁日(納涼祭)、品川区内デイサービスセンター合同作品展
- 9月 敬老会(おやつバイキング)・料理クラブ
- 10月 料理クラブ・さくら会まつり作品づくり
- 11月 さくら会まつり
- 12月 クリスマス会
- 1月 東海七福神めぐり
- 2月 節分の集い
- 3月 お雛さまの集い

(5) 各種クラブ活動内容

- 園芸(隔週月曜日) 書道(火曜日) 囲碁(水曜日または金曜日)
- 料理(月1回)

(6) ご家族および地域との交流

・家族会の実施 毎月1回【第3土曜日、10月・3月は介護者教室】

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
15名	12名	10名	11名	休み	20名	21名	11名	12名	9名	10名	17名	148名

平均参加人数 13.4人

・ボランティアの受け入れ実績

見守りボランティア	4名	囲碁・将棋ボランティア	1名		
書道ボランティア	2名	手話ダンスボランティア	2名		
紙芝居	1名	三味線ボランティア	3名	合計	13名

・介護者教室の開催（年2回）

【1回目】「自分で出来るハンド＆フットマッサージ」 参加者：21名

【2回目】「介護技術～介護を受ける方は安全に　そして介護する方の身体を守る介護術」
参加者：17名

・南大井保育園、園児訪問による交流・ふれあい（毎月1回） 合計：10回

(7) 職員研修

- 4月 「認知症最前線セミナー」（1名）
- 5月 「地域包括プロジェクトの報告と今後の展開について」（11名）
- 6月 「感染症の基礎知識と集団発生予防の管理とは」（3名）
品川福祉カレッジ「認知症のよりよい理解のために」（5名）
「介護保険制度改正について」「医療研修～脈拍について～」(12名)
- 7月 「高齢者虐待研修」（9名）
「救命救急ライセンス取得研修」（3名）
「平成27年度社会福祉事業従事者人権研修」（1名）
- 8月 「成年後見制度研修」（3名）
「介護サービス事業管理者高齢者権利擁護研修」（1名）
- 9月 「老年ケアをよくする会」（1名）
「介護サービスにおける医療と介護の連携」（1名）
- 10月 「明日から使える快適な排泄」（1名）
「社会福祉の専門家としての職員の成長を支える」（1名）
- 11月 「東京都認知症介護実践者研修」（1名）
「リスクマネジメント研修」（3名）
「冬の感染症対策とノロウイルス対策検討会」（5名）
「高齢者の緊急時のアセスメントと看護のポイント」（4名）
「高齢者虐待について～虐待の芽チェックシート～」(13名)
「介護サービス事業管理者高齢者権利擁護研修（通所系）」(1名)
- 12月 「介護職に必要なリスクマネジメント研修」（1名）
「平成27年度管理職のためのメンタルヘルス講習会」（1名）

- 「メンタルヘルス研修」(3名)
- 1月 「チームワークとコミュニケーション」(4名)
- 2月 「家族援助」(5名)
- 品川福祉カレッジ「地域推進研修・トレーニング研修」(1名)
- 3月 「認知症事例検討会」(5名)

合計 延べ98名参加

(8) 実習生の受け入れ

(単位：人)

	5月	9月	10月	1月	計
品川介護福祉専門学校	2				2
品川ケア協議会					0
品川区立浜川中学校 キャリア体験学習		2			2
品川区立鈴ヶ森中学校キャリア 体験学習				2	2
女子栄養大学		2	3		5
計	2	4	3	2	11

(9) 会議

- ・サービス向上委員会及びリーダー会議(毎月1回、合計12回実施)
- ・全体ミーティングおよびケースカンファレンス(毎月1回、合計12回実施)
- ・サービス担当者会議への出席(年間合計84回(延べ)出席)
- ・朝礼・夕礼ミーティング(毎日実施)

(10) その他

- ・平成27年度品川区デイサービス合同作品展実行委員(平成27年8月21日~28日)

6 さくらハイツ南大井

(1) 活動報告

高齢化・重度化が進む中で、ハイツ入居者の心身両面にわたる健康の維持・増進を図るために、脳トレーニング・寺子屋、筋トレ・椅子体操、健康講座、健康相談、DVD鑑賞会などの事業を継続実施しています。入居者間の交流を図るために「折り紙教室」から「茶話会」に変更し、入居者同士の交流に努めてきました。また、歌の会、作品展、お散歩会等の多様な行事や事業を年間通して計画的に行うことにより、入居者同士のコミュニケーションの強化に努めてきました。これらに加えて、職員による事故対策委員会を定例的に開催することにより、事故予防に努めるとともに、事故発生時の適切な対応方法や事故再発防止に向けた取り組みを行ってきました。

また、介護認定を受けた入居者に対しては、高齢者複合施設の特徴を生かして適切な介護サービスが受けられるよう、在宅介護支援センター、ケアセンター、ヘルパーステーション等との連携・協力を努めてまいりました。さらに、入居者と職員の防災意識を高め、火災、地震・津波等の発災時に安全かつ確実な避難行動がとれるように、「震災対応マニュアル」の検証を図るため、昼間や夜間ケースの発災等を想定して防災訓練を実施し、災害対応に努めました。

なお「介護の安心基金」制度においては、平成24年4月1日に施行された老人福祉法一部改正を受け、平成27年4月1日以降の基金への新規加入を中止することといたしました。

(2) 入居の状況（28年3月31日現在）

(単位：人数)

		一人居室（18室）	二人居室（9室）	合計
定員		18	18	36
入居者	男性	2	7	9
	女性	15	7	20
	合計	17	14	29

(3) 入居者の年齢構成（28年3月31日現在）

(単位：人数)

	～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳～94歳	95歳～	合計	比率(%)
男	0	0	1	2	3	2	1	0	9	31.0
女	0	0	4	6	4	4	2	0	20	69.0
合計	0	0	5	8	7	6	3	0	29	100
比率(%)	0	0	17.2	27.6	24.1	20.7	10.4	0	100	

平均年齢 の推移	12 年度	13 年度	14 年度	15 年度	16 年度	17 年度	18 年度	19 年度	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度
全 体	72.5	75.1	75.7	76.2	76.4	77.6	78.4	79.5	80.5	81.1	82.0	82.7
男	74.4	77.1	77.6	78.1	78.4	79.4	80.4	81.5	82.5	83.5	84.4	84.7
女	71.8	74.2	74.8	75.2	75.7	76.9	77.6	78.6	79.6	80.1	81.0	82.0
平均年齢 の推移	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度								
全 体	83.2	83.2	83.7	80.7								
男	85.1	85.4	85.8	82.0								
女	82.6	82.3	82.9	80.1								

(4) 会議・行事等

行事・サークル活動等	実施時期・回数等	参加人数
★隔週実施 寺子屋 椅子体操 卓球クラブ	24回 22回 19回	延べ 159名 延べ 90名 延べ 119名
★月1回実施 茶話会 歌の会 健康相談	11回 12回 12回	延べ 125名 延べ 83名 延べ 52名
★年4回実施 代表者運営懇談会	5月・6月 10月・12月	延べ 12名
★年2回実施 園芸に親しむ会 フラワーアレンジメント 全体運営懇談会 安心基金運営委員会	6月・10月 6月・12月 8月・2月 7月・9月	9名 12名 延べ 47名
★随時実施 菖蒲湯 ハイツ作品展 七夕飾り 消防設備点検 買い物会(ラゾーナ川崎) DVD鑑賞会 風車作り インフルエンザ予防接種 お散歩会(池田山公園) クリスマス飾り 柚子湯 初詣(六郷神社) 鏡開き 消防設備点検 区高齢者作品展 ひな人形飾り付け 緊急通報設備点検 健康講座	5月 6月 6月 6月 7月 9月 10月 10月 12月 12月 11月 12月 1月 1月 1月 2月 3月 3月 3月	13名 3名 全戸対象 7名 6名 5名 14名 12名 7名 11名 17名 全戸対象 1名 3名 全戸対象 16名

(5) 入居者サークル活動

曜日	月	月・火	水	水	木
時間	9:00 ~10:00	月13:00 ~火17:00	9:00 ~10:00	13:00 ~17:00	9:00 ~10:00
内容	太極拳	卓球	ストレッチ	輪投げ	太極拳
人数	4	12	8	2	1

(6) 入居者の介護状況の推移（28年3月31日現在）

(単位：人数)

	特定 高齢者	総合 事業	支 援 1	支 援 2	要 支 援	介 護 1	介 護 2	介 護 3	介 護 4	介 護 5	合 計 (*)
12年度	**	**	**	**	4	1	1	1	0	0	7
13年度	**	**	**	**	3	3	1	1	0	0	8
14年度	**	**	**	**	3	2	3	0	1	0	9
15年度	**	**	**	**	3	2	3	0	1	1	10
16年度	**	**	**	**	4	2	1	0	0	0	7
17年度	**	**	**	**	3	3	1	1	0	0	8
18年度	1	**	3	1	**	4	0	0	0	0	8
19年度	1	**	3	0	**	5	0	0	0	0	8
20年度	1	**	3	0	**	3	1	1	1	0	9
21年度	1	**	3	0	**	3	2	2	0	0	10
22年度	1	**	1	2	**	2	1	3	1	0	10
23年度	1	**	3	2	**	1	0	4	2	0	12
24年度	0	**	4	1	**	1	0	4	2	0	12
25年度	**	**	2	4	**	1	1	2	1	1	12
26年度	**	**	2	1	**	3	1	1	1	1	10
27年度	**	0	2	0	**	2	1	0	1	0	6

*特定高齢者含まず。

(7) 入居者の介護サービス利用状況（27年3月31日現在、サービスの重複利用あり）

訪問介護	訪問看護	デイケア	デイサービス
5人	1人	4人	0人

(8) 介護の安心基金サービス利用状況

(単位：円)

	12年度~24年度	25年度	26年度	27年度	合 計
居室介護費用	5,646,894	1,739,791	1,143,778	2,298,970	10,244,620
居室継続利用 保障費用	1,206,678	194,370	77,868	140,650	1,684,784
一時的介護費用	12,930	0	0	68,500	77,930
ケアホームへの 保障費用	20,652,954	1,850,575	611,523	4,776,510	27,231,143
事務局経費	0	0	0	800,400	800,400
長寿祝い金	0	0	0	3,200,000	3,200,000

(9) 安心の住まい環境整備（主な工事等）

・ご入居者のご意見や要望等を踏まえ下記のとおり、設備面の環境整備を実施しました。

- ① 宿直室 畳の表替え工事を実施しました。
- ② ハイツ浴室 窓枠等カビ除去清掃を実施しました。
- ③ 共用部廊下 5階～8階外廊下の防滑化改修工事を実施しました。
- ④ 4階自動扉 エンジン及びセンサー交換工事を実施しました。
- ⑤ 4階レストラン テーブル・椅子を購入しました。

(10) ハイツ防災訓練実施状況

- ① 4月 3日 訓練消火器・2号消火栓操作訓練（平成27年度新人研修として実施）
- ② 5月13日 防災担当者連絡会
- ③ 6月10日 防災訓練（昼間・土曜日1階リハビリホール・食堂よりの出火を想定）
- ④ 7月 8日 防災訓練（非常食の折り扱い）
- ⑤ 8月19日 防災訓練（防災監視盤の取り扱い）
- ⑥ 9月 8日 防災訓練（昼間地震発生による津波想定。「震災対応マニュアル」検証訓練）
- ⑦10月13日 防災訓練（夕刻地震発生による津波想定。「震災対応マニュアル」検証訓練）
- ⑧11月10日 防災訓練（夜間地震発生による津波想定。「震災対応マニュアル」検証訓練）
- ⑨12月 9日 防災担当者連絡会
- ⑩ 1月13日 訓練消火器・2号消火栓操作訓練
- ⑪ 3月 4日 「みんなで自衛消防訓練」（大井消防署主催）に参加

(11) 主な職員研修等（主催）

- ① 6月25日 「感染症の基礎知識と集団発生予防の管理とは」（法人） 1名
- ② 7月 8日 「高齢者虐待研修」（法人） 2名
- ③ 8月27日 「成年後見制度研修」（法人） 3名
- ④10月 2日 「明日から使える快適な排泄」（法人） 1名
- ⑤10月15日 「認知症観を育てるために、ケアの姿勢と基本的な考え方を学ぶ」（法人） 1名
- ⑥11月19日 「冬の感染症対策」と「ノロウイルス対策検討会」（品川区） 1名
- ⑦ 1月22日 「チームワークとコミュニケーション」（法人） 1名
- ⑧ 2月12日 「チームワークと職員間コミュニケーション」（法人） 1名
- ⑨ 2月18日 「家族援助」（法人） 3名
- ⑩ 3月11日 「認知症事例検討会」（法人） 2名

7 南大井在宅介護支援センター

(1) 活動報告

ア) 平成 27 年 4 月から新たな人員体制となり、新人を含め 6 名体制でスタートとなりました。介護担当を 4 名とし、品川区との取り決めにより、管理者 25 件、常勤介護支援専門員 35 件、計 130 件の給付件数を目標としています。新人介護支援専門員の受け持ち件数は 25 件からスタートし徐々に増やしてゆき、下半期に 35 件迄持ち件数を増やす事が出来ました。年間の全体件数は月平均 126 件でした。特定事業所加算Ⅱの算定要件を維持し、入退院時などの連携加算の取りこぼしなないように留意しました。

予防担当は 2 名とし、新しく開始となった総合事業に対応しました。予防給付は約半分に減少し、原則型ケアプラン、簡略型ケアプランに移行しています。年間の平均件数は 130 件でした。

イ) カンファレンスを定期的実施し、利用者情報の共有、課題整理、スーパーバイズの良い機会とし、個々のケアマネジメント力の向上に努めるとともに困難事例については事業所全体で状況把握する事で、介護支援専門員個人の心理的負担軽減に努めています。また事業所としての課題の共有や検討、事務連絡のためのミーティングを定期的開催し、業務が円滑に運べるよう努めました。今年度は特に総合事業へのスムーズな移行や負担割合変更、マイナンバー制度導入に伴う対応について周知を図りました。

ウ) 毎月の民生委員協議会や地域住民との交流を図り、地域資源や新たなコミュニティの発見に努めました。また、認知症当事者や家族支援の為、認知症カフェ「スマイルカフェさくら」(以下カフェ)を年 4 回定期開催しています。地域に根差したカフェをめざし地域住民と「良くする会」として話し合いの機会を持ち、参加者主体型に向けた取り組みを継続しています。

エ) 認知症サポーター養成事業は、今年度、企業や住民対象以外に大井警察署員に実施しています。迷子高齢者や認知症による被害妄想から地域の交番や警察署に係るケースが増えている中、認知症の正しい理解を深めて頂く良い機会となりました。今後とも地域における認知症への関心が高まるよう、啓発活動に取り組んで参ります。

オ) 毎月の地区ケア会議に、地域を担当する民間居宅事業所への参加を積極的に促し、事例検討会や勉強会、医療連携等より幅広いテーマで企画・開催し個々の職員のスキルアップに努めました。

カ) 職員個々の研修計画に基づき、法人内部、外部の研修を積極的に受講しスキルアップに努めました。

キ) 在宅介護支援センター管理者会や居宅介護支援事業所連絡会、東大井倶楽部・大井林町倶楽部の運営推進会議に出席し、必要な情報収集・情報交換を行っています。

ク) 品川区の耐震改修工事の為平成 27 年 5 月から事務所(鈴ヶ森学童跡)を仮移転しておりました。工事終了に伴い平成 28 年 2 月末で仮移転を終了しています。

(2) ご利用者の状況

南大井在宅介護支援センター

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護認定	39	34	25	35	44	46	43	42	35	39	35	28	445
新規認定	7	9	3	9	7	15	4	7	5	5	14	10	100
更新認定	31	23	19	24	37	27	38	32	30	32	20	16	329
区分変更	1	2	3	2	0	4	1	3	0	2	1	2	21
相談件数	312	313	360	349	309	290	421	583	429	382	381	370	4,397
緊急訪問	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ケアプラン数	117	122	123	120	120	120	123	128	133	132	131	131	1,511
要介護1・2	80	84	88	75	87	92	97	102	93	95	95	95	1,083
要介護3・4・5	38	36	35	45	33	31	31	31	38	37	36	36	427
予防給付	58	54	55	57	58	58	57	57	61	59	60	55	689
原則型	65	63	55	51	51	53	53	51	52	49	53	50	646
簡略型	8	9	18	18	17	19	19	22	24	23	22	23	222
初回加算	8	6	10	8	13	15	14	10	13	6	8	7	118

(3) 実習受け入れ状況

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
昭和大学医学部附属看護専門学校			2			2	2						6
東京医療保健大学(看護)										1			1
品川社会福祉協議会社会福祉士養成コース													0
品川介護福祉専門学校(介護福祉学科)								1					2
計													9

(4) 研修状況

ア) 法人研修

研修名	日程	参加人数
感染症の基礎知識	6月25日	1名
虐待	7月8日	2名
成年後見制度	8月27日	3名
認知症観	10月15日	2名
救急時のアセスメント	12月2日	2名
メンタルヘルス	12月11日	1名
管理職員スキルアップ研修	2月12日、3月16日	各1名

イ) 外部研修

研修名	日程	参加人数
認定調査員新規研修	4月21日	1名
ケアプランサポート研修	6月11日	1名
区システム担当者研修	6月17日	1名
若年認知症の人たちへの生活支援	7月4日	1名
住宅改修研修会	7月17日	1名
介護支援専門員実務者基礎研修	7月4日、7月12日、8月8日、8月22日、9月19日	各1名
ケアマネジメントの質の向上研修	8月18日、9月28日、9月29日	各1名
地域包括ケア研修	8月25日	1名
老年ケアをよくする会	9月8日	1名
介護サービスにおける医療と福祉の連携	9月29日	1名
人権研修	10月2日	1名
介護予防ケアマネジメント	10月13日	2名
医療と介護の多職種研修	10月17日、12月19日	各1名
統合失調症（病気の理解と対応）	11月20日	2名
東京都認知症多職種協働研修	11月21日	1名
キャラバンメイト養成研修	12月7日	1名
介護支援専門員専門研修1	12月14日、1月10日、1月28日、2月16日、3月5日	1名
現役ケアマネが話す仕事の段取り	12月16日	1名
東京都地域包括支援センター職員研修	12月17日、18日	1名
精神疾患と家族システム精神医学的理解	1月8日	2名

(5) 地域交流

名称	日程	参加人数
ふれあいサポート活動会議	6月11日、10月22日、2月4日、	各1名
認知症カフェ「スマイルカフェさくら」	6月7日、9月6日、12月6日、3月6日	各2・3名
認知症カフェ「良くする会」	7月18日、9月6日、2月4日	職員3～4名 地域住民3～5名

(6) 認知症サポーター養成事業「出前講座」

対象	日程	参加人数
第一生命保険株式会社幹部候補生	5月21日、5月27日、11月13日	職員2名 社員198名
月見橋在宅サービスセンター家族会	7月18日	職員2名 家族12名
大井警察署員	9月7日、9月8日	職員2名 警察署員83名

(7) その他

名称	日程	参加人数
東大井地域密着型多機能ホーム運営推進会議	5月19日、7月21日、9月15日、11月17日、1月19日、3月15日	各1名
大井林町倶楽部運営推進会議	4月15日、6月17日、8月19日、10月21日、12月16日、2月17日	各1名
牧田病院地域連携懇話会	6月3日	2名
センター方式ファシリテーター	7月15日	1名
品川福祉カレッジ認知症ケア専門コースファシリテーター	8月26日	1名
民生委員対象学習会開催	10月20日	2名
荏原病院認知症疾患医療センター連携協議会	10月26日、3月18日	各1名
品川区在宅介護者のつどい	11月4日	2名
介護支援システムマニュアル改訂作業部会	9月28日、12月16日、3月11日、	1名
しながわ・えばら地域包括ケア推進事業実行会議	2月29日	1名
品川介護専門学校 実習指導者懇談会	3月16日	1名
認知症カフェ情報交換会	3月18日	1名

8 南大井第二在宅介護支援センター

(1) 活動報告

平成27年度は、品川区立大井林町高齢者複合施設に移転し4年目の年となりました。要介護担当4人、要支援担当3人体制で業務にあたり、今年度の要介護ケアプラン件数は130.8件と当初目標とした125件を上回る結果となりました。また、通年特定事業所加算Ⅱの要件も満たす事が出来ました。要支援担当者3名は総合事業への移行年となりましたが、大きな混乱もなく移行作業が行われました。要支援者、事業対象者合わせて月平均155件のケアプラン件数となりました。今年度は、ほぼ当初予算通りの収支結果を達成することができました。

質の高い支援を目指す為に積極的に研修に参加し、毎日の所内ミーティングでそれぞれの支援状況を全員で把握し、地区ケアでの勉強会や意見交換が適宜行える環境作りが出来ました。そして来年度から始まる地域ケア会議に向けた足掛かりを作るなど、先を見据えた活動ができました。

大井林町高齢者住宅では、住人参加型の活動が活発になっています。その活動の一環として認知症サポーター事業養成講座を開催しました。これからの、住人の「生きがいのある生活を応援」活動の第一歩となりました。

【27年度重点目標に対して】

ア)「地域包括ケアの実現に向けて」については、毎月開催される地区ケアで様々な問題を地域のケアアマネージャーや医療関係者、支援者と共有、学習する事で、地域力を上げる努力をしました。また、民生委員との学習会や協議会への参加で、民生委員の良きパートナーとして共に地域で抱える問題に取り組みました。

- ・「総合相談援助業務の充実」については、各職員が分担をして地域活動に参加する事で、より相談しやすい身近な在宅介護支援センター作りをしました。
- ・「認知症高齢者支援の充実」については、民間企業、警察署、家族会、高齢者住宅住人など様々な方面に対し、認知症サポーター養成事業出前講座を開く事ができました。今後も認知症高齢者を地域で支える為の活動を広げていきたいと思えます。
- ・「地域ケア会議の充実」については、社会資源の発掘、ケース学習会等を行いました。来年度は「地区ケア会議」が「地域ケア会議」となり、より具体的に利用者ニーズや地域課題の発見に繋がる会議を求められています。27年度の後半はその足掛かりとなる試行を行いました。
- ・「医療支援関係者との連携」については、研修や地区ケア、しながわ、えばら地域包括推進事業、認知症早期発見早期対応対策会議に参加する事で、医療関係者と連携・協働して活動する事ができました。

イ)「運営の安定」については、品川区の協定を踏まえながら当初予算にほぼ近い結果となりました。

ウ)「制度改正への対応」については、要支援者に対する総合事業がはじまり、上半期は手

探りで業務を行う事もありますが、利用者については大きなトラブルもなく移行作業ができました。

(2) ご利用者の状況

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護認定	29	25	44	26	42	28	28	40	42	38	31	23	396
新規認定	3	0	1	2	1	0	0	2	1	0	0	0	10
更新認定	20	23	37	23	38	23	27	34	38	35	28	16	342
区分変更	6	2	6	1	3	5	1	4	3	3	3	7	44
相談件数	438	434	416	413	428	406	421	429	403	409	414	391	5,002
緊急訪問	0	0	0	1	4	0	1	1	2	0	0	2	11
ケアプラン数	122	128	131	134	137	136	138	134	130	126	126	128	1,570
要介護1・2	87	89	92	92	97	97	98	96	94	90	84	86	1,102
要介護3・4・5	35	39	39	42	40	39	40	38	36	36	42	42	468
要支援・事業対象者件数	144	141	146	153	153	153	158	159	159	163	165	161	1,861
アセスメント作成	41	35	34	22	29	29	25	17	27	42	27	33	361
初回加算	10	7	11	14	14	7	13	8	11	14	11	8	128

(3) 実習受け入れ状況

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
昭和大学医学部附属 看護専門学校	2		2			2							6
東京医療保健大学(看護)		2		2						2			6
品川介護福祉専門学校 (社会福祉士養成)			1	1			1	1					4
計	2	2	3	3		2	1	1		2			16

(4) 研修状況

日程	研修内容	参加者
4月22日	認定調査員新規研修	馬淵
6月11日	新人フォロー研修 講師	杉山
6月11日	ケアプランサポート研修 ファシリテーター	稲毛
6月17日	在宅介護支援システム研修	横尾 杉山
7月15,27,8月26,9月28,10月20日1月21日	H27年度品川福祉カレッジ認知症ケア専門コース 講師	横尾
7月15,27日	H27年度品川福祉カレッジ認知症専門コース ファシリテーター	山口 杉山
9月8,17日10月7,14日11月11,19日	精神障害者 HH ステップアップ研修	稲毛
9月29日	ケアマネジメントの質の向上研修会保険者と共に行うケアプラン点検	馬淵
10月2日	人権研修	山口
10月13日	H27年度ケアプランサポート研修 介護予防マネジメント研修	杉山
10月15日	法人研修 認知症ケア研修 講師	横尾
10月19日	医療と介護の多職種連携研修	横尾
10月20日	認知症ケア研修パワーアップ講座 講師	横尾
11月9日	ゲートキーパー研修	馬淵 小野寺
11月28日1月16日2月20日3月12日	認知症対策検討会議	横尾
11月30日1月30日	しながわ えばら地域包括ケア推進事業 世話人会	横尾
12月12日2月10日	品川区認知症早期発見早期対応対策会議	横尾
12月14日3月15日	認知症ケア専門コーストレーニング研修 講師	横尾
12月19日	医療と介護の多職種連携研修	小野寺
1月8日	精神疾患と家族システムの精神医学的理解	稲毛戸田小野寺
12月14日1月14日2月16日3月14日,23日	介護支援専門員専門研修Ⅰ	小野寺
1月26日	高齢者虐待予防研修	小野寺
2月12日,3月16日	法人研修 管理職研修	山口
2月29日	しながわ えばら地域包括推進実行会議	横尾
3月11日	法人研修 認知症事例検討会	山口

(5) 地域交流

4月12日	桜まつり 林町町会
5月17日	東大井林町会こども祭&防災訓練
7月11日	区民祭り盆踊り大会
12月5日	立会小学校災害時避難訓練
12月28日	町会歳末特別警戒

(6) 認知症サポーター養成事業「出前講座」

日時	主催・場所
5月21日(2回),27日11月13日	第一生命認知症サポーター養成事業「出前講座」
7月18日	月見橋在宅サービスセンター家族会認知症サポーター養成事業「出前講座」
9月7日8日	大井警察認知症サポーター養成事業「出前講座」
2月25日	大井林町高齢者住宅認知症サポーター養成事業「出前講座」
10月20日	民生委員学習会(認知症サポーターレベルアップ事業)

(7) 会議、その他

毎月第2木曜日	地区ケア会議(8月、2月は地域学習会)
遇数月第2水曜日	居宅支援事業所連絡会
奇数月第2水曜日	在宅介護支援センター管理者会
年7回第2水曜日	民生委員協議会
毎月第2木曜日	第一、第二合同ミーティング
毎月月初	係長、主任会議

9 さくら会ヘルパーステーション

(1) 活動報告

- 1) 支援を必要とする高齢者が、可能な限り居宅において、それぞれの能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、入浴・排泄・食事の介護、その他生活全体にわたる援助を行いました。
- 2) 予防給付からの移行により、介護予防・日常生活支援総合事業のサービス提供を開始しました。要介護認定を受けていない総合事業対象者への訪問件数が増加傾向です。
- 3) 全体ミーティングの定期的な実施により、ヘルパーへの的確な情報伝達と介護技術の向上に努めました。「高齢者虐待」や自宅における「看取り」をテーマに取り上げ、訪問介護事業所としての基本姿勢を所内で共有しました。
- 4) 平成27年度は、平成26年度に引き続き訪問回数を月平均1000回とすることを目標として活動しましたが、月平均880回と大幅に目標を達成することができませんでした。月間の利用者数が90名を下回る月が多かったことに加え、全利用者のうち要介護者が半数以上を占める状況であったものの、利用者ひとりあたりの訪問回数は減少したことが要因と考えられます。
- 5) 登録ヘルパーの登録数は、年間を通して変化することはありませんでした。今後も事業規模に応じた人員配置を心掛けながら、事業規模の拡大のため、登録ヘルパーの登録数の増加をはかるよう努めます。

(2) ご利用者の状況

①月別ご利用者数

(単位：人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
83	81	87	84	82	82	83	86	88	89	92	93	1,030	85.8

②ご利用者の要介護度

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	比率%
事業対象者(Ⅰ)	26	28	30	29	30	30	31	32	36	36	39	35	382	37.1
事業対象者(Ⅱ)	7	6	6	6	5	5	5	5	5	4	6	6	66	6.4
要介護1	18	18	21	20	18	18	20	21	20	22	20	19	235	22.8
要介護2	11	10	11	12	13	12	12	12	11	10	12	15	141	13.7
要介護3	4	5	5	4	3	5	6	6	6	6	6	7	63	6.2
要介護4	11	9	8	8	9	8	5	6	5	6	4	7	86	8.4
要介護5	6	5	5	5	4	4	4	4	5	5	5	4	56	5.4
合計	83	81	87	84	82	82	83	86	88	89	92	93	1,030	100
平均介護度	1.73	1.64	1.56	1.57	1.57	1.56	1.46	1.47	1.44	1.33	1.34	1.51	1.52	

③サービス内容

(単位：延時間)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	比率%
身体介護	257	236	297	279	247	241	261	233	211	227	235	269	2993	34.5
生活援助	174	190	197	223	152	149	177	178	162	164	158	171	2095	24.1
身体・生活	150	142	146	153	144	102	133	136	126	144	127	141	1640	18.9
総合事業	149	150	160	169	153	153	161	157	165	156	186	197	1956	22.5
合計	730	718	800	824	696	645	732	704	664	687	706	778	8684	100

④訪問回数

(単位：回)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
888	898	1010	985	839	756	889	842	801	803	972	978	10,561	880

(3) 研修等

	部門研修	出席人数	部外研修	出席人数
4月	15日 全体ミーティング (福祉用具の使用方法)	13人		
5月	20日 全体ミーティング (実技研修)	10人	13日 事業計画発表会	4人
6月	17日 全体ミーティング (調理実習)	13人	25日 感染症の基礎知識	1人
7月	15日 全体ミーティング (介護職員のためのコンプライアンス チェック)	12人	8日 高齢者虐待研修 9日 普通救命ライセンス取得研修	4人 1人
8月	実施なし		27日 成年後見制度研修	1人
9月	16日 全体ミーティング (震災時の対応)	9人		
10月	21日 全体ミーティング (感染症その1)	10人	2日 明日から使える快適な排泄 15日 「認知症観を育てるために」	4人 1人
11月	18日 全体ミーティング (感染症その2)	9人	13日 リスクマネジメント研修 19日 冬の感染症対策	2人 2人
12月	実施なし		3日 高齢者の救急アセスメント 3日 品川福祉カレッジ口腔機能向上・ケア講座 「嚥下障害の臨床最前線」	1人 2人
1月	20日 全体ミーティング (実技と高齢者虐待について)	12人	22日 チームワークとコミュニケーション	1人
2月	17日 全体ミーティング (福祉用具の最新動向)	8人	18日 家族援助	1人
3月	18日 全体ミーティング (看取りついて)	11人	11日 認知症事例検討会	2人
計		107人		27人

(4) 実習生受け入れ

1) 品川介護福祉専門学校

介護福祉士コース 11月9日、10日、11日、12日 1名 延べ4日

11月18日、19日、20日、21日 1名 延べ4日

その他、法人他部門からの実習を受け入れました。

10 南大井訪問看護ステーション

(1) 活動報告

利用者や、ご家族が住みなれた居宅において、療養生活が継続的に安心して送れるよう、定期訪問、24時間体制で看護を提供してまいりました。

利用者の状況変化に合わせ、より良い在宅生活継続が可能とするため、主治医をはじめ、他職種と連携を密に行いました。担当者会議や退院時カンファレンス等に積極的に参加し、医療・福祉関係機関との協同により、早期に課題が解決し、より良い状態に導いていけるように取り組みました。

平成27年度も、高齢者住宅をはじめ、地域の方々とも、さくら祭り、子供祭り等を通じ交流を深めてまいりました。近隣のクリニックやヘルパーステーションとも密接な連携が出来るようになり、他事業所、クリニックからの新規の依頼が多くなりました。訪問看護スタッフの健康面の安定、スキルアップ及び質の高いケアにより、利用者様の不安の解消、早期の状態安定により、緊急コールも少なくなりました。

スタッフの残業を減らし、医師をはじめ他職種との連携を円滑に行うため、試験的に営業時間を30分繰り下げ9:00~18:00への変更に向けての取組みも行いました。その結果ステーション全体の残業時間が月平均20時間削減出来ました。

より多くの方にサービスの提供できる体制を整えるため、看護師募集の広告、ナースプラザの説明会等への参加を行いました。人材確保には至らず、リハビリスタッフ1名の退職もあり、平成27年度訪問目標6200件を703件下回る5497件となりました。

訪問看護個別経営相談にも参加し、各スタッフの訪問件数を増やす対策を立てるようアドバイスを受け、スタッフ一人ひとりの健康面に留意しながら努力しているところです。

訪問看護、訪問リハともに新規依頼が増えてきており、人員確保し訪問件数の確保に努めてまいります。

各職員が全てのご利用者に同行訪問を行い、誰もが柔軟に訪問対応できるように努めた結果、利用者の状態把握や情報共有が深くできるようになり、より円滑な対応が可能となりました。病院から在宅への流れの中、在宅での看取りは7件となりました。

より質の高い看護が提供できるよう、積極的に研修等に参加するなど日々研鑽し、研修参加者による伝達講習も行い、チームでの看護技術向上に努めました。

スタッフの勤務年数、研修等への参加、定期ミーティングの開催等の要件を満たしたことから平成28年からサービス提供体制強化加算算定の届出を行い、よりよいサービスの提供に向けて努力していきます。

(2) ご利用者の状況

1) 訪問件数

(単位：件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問 リハ ビリ	利用者数	42	44	48	45	41	41	42	45	45	46	46	45	530
	訪問件数	152	158	193	166	152	151	172	157	160	178	176	193	2008
訪問 看護	利用者数	61	62	66	66	65	61	61	59	60	61	61	60	743
	訪問件数	288	284	339	340	316	290	316	243	285	240	273	275	3489
合計利用者数		103	106	114	111	106	102	103	104	105	107	107	105	1273
合計訪問件数		440	442	532	506	468	441	488	400	445	418	449	468	5497

2) 要介護度

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	比率%
介護 保険	要支援1	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	25	3
	要支援2	3	3	4	6	5	5	4	5	5	5	6	6	57	7
	要介護1	20	19	21	20	21	21	21	21	21	22	21	21	249	28
	要介護2	17	17	18	17	14	16	16	17	16	15	15	16	194	22
	要介護3	11	12	12	13	12	12	13	10	11	10	11	9	136	15
	要介護4	7	6	8	8	8	4	6	7	10	10	8	10	92	11
	要介護5	9	11	12	11	11	11	10	8	11	11	11	11	127	14
	小計	71	70	77	77	73	71	72	70	76	75	74	74	880	100
医療 保険	後期	13	12	12	13	12	10	9	10	11	9	10	7	128	52
	健康	7	7	9	6	7	7	8	9	7	7	7	8	89	37
	その他	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	27	11
	小計	23	22	23	21	21	19	19	21	20	18	19	18	244	100
合 計	94	92	100	98	94	90	91	91	91	96	93	93	92	1124	

(3) 実習受入状況

東京衛生看護学校：4名

東邦大学看護学部：4名

東京工科大学看護学科：6名

(4) 地域活動

4月12日 さくら祭り

5月17日 東大井林町会子供祭り

6月20日 立会小ブックフェア

6月21日 ボランティア交流会

7月11日 大井第一地区区民祭り盆踊り大会

12月28日 町内歳末特別警戒

(5) 職員の研修等

日程	研修内容	参加人数
5/13	事業計画発表会（さくら会）	5名
5/20	在宅でのターミナルケア	1名
6/05	日本理学療法学会	1名
6/11	地区ケア会議	1名
6/14	東京都理学療法士学会	1名
6/20	東芝病院糖尿病勉強会	1名
6/27	熱中症予防、対策セミナー	1名
7/9	地区ケア会議	1名
7/18	品川睡眠障害フォーラム	1名
7/25	区中央部・区南部・島しょ部ブロック研究会	1名
8/19	在宅での人工呼吸器装着療養者の呼吸管理	1名
8/20	訪問看護緊急時の対応と在宅酸素	1名
9/10	地区ケア会議	1名
9/16	社会福祉事業従事者人権研修	1名
9/25	看護管理者連絡会議	1名
9/29	平成27年介護保険サービス事業者支援研修	1名
10/2	明日から使える快適な排泄	1名
10/8	地区ケア会議	1名
11/8	訪問看護サミット	1名
11/8	区中央部・区南部・島しょ部ブロック学術大会	1名
11/12	地区ケア会議	1名
11/14	訪問看護協議会城南ブロック研修会	1名
11/22	日本在宅看護学会	1名
12/2	高齢者の排泄・排便ケア	1名
12/10	地区ケア会議	1名
12/17	在宅でのフィジカルアセスメント	1名
2/12	管理者研修（さくら会）	1名
2/29	医師会地域包括連携会議	1名
3/16	管理者研修（さくら会）	1名
3/26	平成28年診療報酬改定研修会	2名

1 1 品川区立大井林町高齢者住宅

(1) 活動報告

今年度は1F在支枠(6戸)を除く、2F~5Fにおいての全室入居については、年間を通じてすべての居室が入居となり、在支枠を除くと平均入居稼働率は100%となりました。

住宅業務として入居者間の交流、健康維持活動を中心に行い、1年間の企画を通じて全世帯中73世帯の方が活動に参加されました。住宅で企画する活動以外に、将棋、囲碁、麻雀クラブが自主活動として行われるようになり、多くの方が参加するようになりました。介護認定を受けた入居者には、高齢者複合施設の特色を生かして適切な介護サービスが受けられるよう、在宅介護支援センター、ヘルパーステーション等との連携・協力を努めました。

地域との連携については、さくら会法人として東大井林町会へ加入をしました。入居者へは東大井林町会への加入の案内を行い、63世帯が加入をされました。住宅入居者、職員、東大井林町会住民との交流を中心に町会活動を行いました。

その他、12月には平成28年度の入居待機登録者募集、入居待機登録者の公開抽選を行い、単身用5名、2人用4世帯の入居待機登録者を決定しました。

(2) 入居待機登録者募集

	募集戸数	結果	期間
平成28年度 募集	単身用20人	5人	平成27年11月24日(火)~12月2日(水)
	世帯用10世帯	4世帯	

◆募集案内 広報しながら、チラシの町会回覧、品川区高齢者地域支援課、各地域センター、品川区立大井林町高齢者住宅にて配布

(3) 入居の状況(28年3月31日現在)

(単位:人)

		単身風呂なし (6室)	単身用風呂有 (72室)	2人用(12室)	合計
定員		6	72	24	102
入居者	男性	0	29	12	41
	女性	3	43	12	58
	合計	3	72	24	99

(4) 入居者の年齢構成(28年3月31日現在)

(単位:人)

	65歳~69歳	70歳~79歳	80歳~89歳	90歳~95歳	合計	比率 (%)	平均年齢
男	5	22	14	0	41	41%	76歳
女	2	34	19	3	58	59%	78歳
合計	7	56	33	3	99	100%	77歳
比率 (%)	8%	56%	33%	3%	100%		

(5) 月内の入居退去者数

(単位：人)

平成 27年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居 風呂有 単身用	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
入居 風呂なし 単身用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
入居 2人用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退去 風呂有 単身用	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
退去 風呂なし 単身用	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0
退去 2人用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入居人数 計/102	101	100	101	101	100	99	98	99	99	100	99	99

(6) 退去後の行き先

(単位：人)

ケアホーム入居	有料老人ホーム入居	病院への転居	他施設への転居	その他
0	1	0	1	4

(7) 退去理由

(単位：人)

介護的理由	医療的理由	環境的理由	死亡
1	0	0	4

(8) 入居稼働率

(単位：人)

平成 27年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均 稼働率
単身用風呂有 +2人用(在室)	84	84	84	84	84	84	84	84	84	84	84	84	
1階(在室)	5	5	5	5	5	4	3	3	3	4	3	3	
1階(空室)	1	1	1	1	1	2	3	3	3	2	3	3	
単身用風呂有 +2人用(空室)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	
全入居率(%)	98	98	98	98	98	97	96	96	96	97	96	96	97
(全室-1階)÷84戸 (%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

(9) 入居者の介護状況の推移（28年3月31日現在）

（単位：人）

平成27年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援1	10	11	11	11	11	11	10	10	10	10	8	8
要支援2	4	4	4	4	3	3	3	3	3	4	4	4
要介護1	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4
要介護2	1	1	1	1	1	1	1					
要介護3	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
要介護4											1	
要介護5												
合計	19	21	21	21	20	20	19	18	18	19	18	18
平均年齢	82.9	83.8	83.8	83.8	83.4	83.4	83.4	82.7	82.7	82.5	82.3	82.3

(10) 入居者の介護サービス利用状況（28年3月31日現在、サービスの重複利用あり）

訪問介護	訪問看護	大井林町倶楽部	通所サービス
11人	2人	1人	9人

12 品川区立大井林町地域密着型多機能ホーム（大井林町倶楽部）

（1）活動報告

大井林町倶楽部では、重度認知症高齢者とその家族における在宅生活継続の支援を重点目標とし事業運営を行いました。訪問サービスを中心に職員が自宅に伺い、利用者自身の残されている力を活かしながら、ご家族、近隣住民の力を借り、生活を支えることが出来ました。また、医療職との協力体制を整えながら支援を行い、利用者や家族の「最後まで自宅で過ごしたい・過ごさせたい」という願いを叶えることができました。

家族会や運営推進会議では、認知症について学ぶ場を設け、在宅生活継続における不安の解消に努め、地域の協力者作りを行いました。利用者家族へは、「認知症サポーター」の研修を実施、運営推進会議においては、「若年性認知症」について学びを深め、地域で支えることについて考え、地域の協力者としての視点を見つめ直す機会となりました。

（2）27年度稼働状況について

指定管理者として、併設事業である在宅介護支援センターや、その他、地域の在宅介護支援センター、地域医療などと連携を図りながら、利用者の確保に努めました。

平成27年度の年間平均稼働率は91.3%と当初の目標を若干下回りましたが、年間平均介護度については、2.2と、前年度を上回りました。退院後に利用に繋がった要介護4の方が3名、在宅で看取りを行った方で要介護5の方が1名いたことが要因と考えます。

（3）ご利用者の状況

①月別利用実績（単位：回）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	1日平均
通い	356	360	336	324	349	290	307	287	302	266	270	285	3,742	10.2
訪問	325	381	358	364	327	295	365	384	357	318	322	361	4,157	11.3
宿泊	73	82	58	56	65	51	58	57	54	45	50	57	706	1.9
実績合計（回）	754	613	752	744	741	636	730	728	713	629	642	703	8,605	
登録者週平均利用日数（日）	7.6	8.1	8.0	7.7	7.6	6.9	7.5	7.4	7.3	6.5	6.6	6.8		

②月別登録人数（人） 登録定員数 25人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
全登録数	23	23	23	23	22	23	22	23	23	22	24	23	22
稼働率（%）	92	92	92	92	88	92	88	92	92	88	96	92	91.3
当月登録数	0	0	1	1	0	2	0	1	1	0	2	0	1
新規	地域	0	0	0	1	0	2	0	1	1	0	2	0
	住宅	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
終了	地域	0	0	1	1	1	0	1	0	1	1	0	1
	住宅	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0

③月別介護度・平均年齢

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
平均	2.2	1.9	2.0	2.1	2.3	2.3	2.5	2.6	2.4	2.4	2.3	2.2	2.2
介護1	8	11	11	9	8	7	6	6	7	6	7	8	8.1
介護2	6	6	5	5	4	6	6	6	6	6	7	7	5.8
介護3	6	4	4	6	6	6	4	4	4	5	5	5	4.9
介護4	2	1	2	2	3	3	4	5	5	4	4	2	3
介護5	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1.1
平均年齢	83.0	83.0	83.7	83.7	83.6	83.4	83.1	79.2	83.6	83.6	84.0	84.1	83.1

・運営推進会議 隔月1回【第3水曜日】

4月	6月	8月	10月	12月	2月	合計
12名	13名	13名	10名	11名	12名	71名

4月…第三者評価＜利用者調査＞結果から考察できること・料金改定について

6月…認知症で不安症のある利用者の支援と課題について

8月…若年性認知症について①＜若年性認知症とは＞

10月…サービス評価について

12月…若年性認知症について②＜本人と家族の不安＞

2月…若年性認知症について③＜原因疾患と分類＞

(4) ご家族および地域との交流

・家族会 隔月1回【第3土曜日】

5月	7月	9月	11月	1月	3月	合計
8名	2名	5名	9名	3名	4名	31名

5月…小規模多機能サービス利用方法の共有

7月…夏場の脱水症状について

9月…訪問診療ってな～に？

11月…認知症サポーター養成講座

1月…『薬』について

3月…平成27年度 取組の振り返り